2016年11月23日

NALC Holland *Newsletter vol.2*

NALCオランダ発足式ご報告

2016年9月24日、Amstelveenの囲碁会館にて、NALC Holland 発足式を開催致しました。青空のもと、50名以上の方が参加され、たくさんの祝辞をいただき、懇親会も大変にぎやかでした。その模様を簡単にお知らせ致します。

第一部

①（財団）WELnu 、NALC Holland　A.A.J.(Ton) Millenaar　代表

時間預託システムを知り、その実現性について考えだした時から、私はこれに大変興味をもちました。人々が平等に助け合うことができるからです。これならば、普段、人の助けを必要とするような人々でさえも相互支援ができます。これが互恵であり、人に尊厳をもたらします。私は、日本のNippon Active Life Club(NALC)で時間預託システムを実施しているメンバーの話しを伺い、それ以来、更に時間預託システムに興味をもちました。日本では、相互支援は、地域単位で小規模で実施され、ボランテイア活動で得た時間は遠くに住む家族に贈ることを可能にしていたのです。在蘭日本人数名と会議を持ちました。その時に、「オランダに住んでいるのだから、ボランテイアで社会貢献できたらうれしいです」「家の近くでボランテイアしたいのですが、どうやったらいいのか解りません」という意見が聞かれました。そこでそういう人たちが住まいの近くでボランテイア活動をする可能性を検討しました。同時にナルク日本と、オランダで活動して得た「時間」を日本の家族へ贈る可能性について話し合ってきました。その結果、一歩づつ話し合いが進み、晴れてナルク日本とナルクオランダの間で契約が交わされました事を大変誇りに思っています。ことわざ：Think globally and act locally

② ビデオによる高畑敬一NALC Japan 代表挨拶

③ アムステルフェーン市議員　Maaike Veenigen ご祝辞

多くの日本人〈家族〉が住んでいるアムステルフェーンでは安全でそしてオランダ人社会と日本人がお互い住みやすい社会を提供できるように努めています。このボランティア団体のこのような活動はオランダ社会と日本人社会にとって大変有意義なものとおもいます。この団体の設立をお祝いしこれからの活動に期待します。

④ 在蘭日本大使館　矢田重信領事　ご祝辞

この度のNALCオランダの設立、心からお祝い申し上げます。オランダで福祉関係のボランティアをすることで、日本での福祉サービスを受ける権利を得られる当会の時間預託システムはとても興味深いものと感じました。一方、NALCオランダはまだ立ち上がったばかりです。これから一歩一歩前に進んでいく必要があります。NALCオランダがその設立理念に基づき、人と人との繋がりをとても素晴らしいものにしていくことを心から願っております。

⑤ Amsta(高齢者施設), Ons tweedethui(障害者施設）、Zonnehuisgroep Amstelland(高齢者施設)、VUHortus (植物園）、Zorgboederij Zebra-zorg(癒し動物園）

⑥　JCC副会頭、生活厚生部長　佐野光秀様　ご祝辞
　NALCオランダの設立、心からお祝い申し上げます。私自身も会員でありますが、これからいろいろな問題を乗り越えて発展してください。

⑦　NALCHollandボランティア活動受け入れ団体紹介
Amsta(高齢者施設), Ons tweedethui(障害者施設）、Zonnehuisgroep Amstelland(高齢者施設)、VUHortus (植物園）、Zorgboederij Zebra-zorg(癒し動物園）

⑧　NALCHolland 役員紹介
代表：Ton Millenar 、副代表：J.Hoekman,
NALCJapan 連絡係り：M. Iwasaki-Millenaar
事務局:：河南笑子、広報：東雅子、監査： 岩﨑國治
会計：松原佳代

⑨　ミニコンサート
高橋展子(ピアノ）高柴ひさえ（メゾソプラノ）、
後藤春香（メゾソプラノ）
桜、ふるさと、アベマリア、ハバナネラ、Oh, mio Babbino,
オペラ椿姫より「乾杯」、Tulip uit Amsterdam

⑩　Coffee break

第二部

⑪　WELnu フックマン氏より第二部開会挨拶

⑫ Dr. Mayumi Hayashi (タイムバンキングシステムの研究のリーダー。King's College London、University of Edinburgh リサーチャー)　からのメッセージ。「ナルクオランダの誕生、おめでとうございます。今日はナルクの海外活動拠点が増える、記念すべき日。私はタイムバンキングシステムの研究者として、実に多くのメデイアにインタビューを受けています。 高齢化社会において、ナルク日本とオランダナルクの活動は世界中の注目を浴びることでしょう。」

⑬ ボランテイア活動を試験的に開始した人たちの様子を紹介。ボランテイア団体WELnuのフックマン氏が日本人ボランテイア希望者を各地域の施設などとマッチングした事を説明。

齋藤さん：「障害者の為のデイケアセンターの、陶芸、刺繍、キャンドル作りなどの手作業をするグループをサポートしています。出来上がった作品を年に２回、マーケットで販売するのがみんなの励みに。月２回のスイミングにも付き添いますが、水の中では身体が動き易いようで、うれしそう。環境の変化についていきにくいある女性とは、1,5年の後にようやく話しができるようになりました。ボランテイアは世の人の為ばかりではなく、何よりも、自分自身の為に。

武信さん：「近くの高齢者施設で料理ボランテイア。普段は決められたように料理しますが、月に一回は『マイメニューの日。』私がメニューを考えて料理するのです。それがとても喜んでいただけて、とても嬉しいです。私は自分の親を看られなかった代わりにせめてここで少しでも人様のお役にたてれば、と思っています。

東さん：「①高齢者用施設で朝食、お散歩等のお手伝い。看護士さんたちの数が足りないので、そのサポートです。おばあさんの手や肩をさすったりしていると、日本の母にできないぶん、ここでしているような気持ちに。ボランテイア会議があり、学べます。②近隣の仲のいい高齢者ご夫婦宅にて。「仲がよくてもお手伝いを頼むのは簡単ではない。ナルク制度を取り入れたので、経費のことなど、ビジネスライクに話せてよい」と言われました。依頼の内容は病院などへの車での往復です。　③ケアファームに通ってくる子供達と共に動物の世話をします。子供達は話し相手ができて楽しそう。障害の重い子を助ける廻りの子たちの様子に感動。不自由な身体で助け合いながら幸せに生きている。私はこの子達のようにふるまえるだろうか？と考えさせられる活動です。

⑭ ナルクロンドン竹中ブラウンあつ子様 ご祝辞

ナルクオランダの設立、おめでとうございます。オランダ独得の動きは参考になります。これからも活動を通じて協力していきましょう。

⑮ ニューヨークでのTimebankingシステムの様子（ビデオによる紹介）Ms. A. Molkenboer ポットラックが盛んに行われている模様などを紹介。

閉会の辞：多くのみなさんのご出席、ありがとうございました。ナルクの活動に興味を持った方、ボランテイアをしたい方、ぜひご連絡ください。入会申し込み書をご用意しています。

懇親会

NALC Hollandが日本祭りに出店　！

素晴らしい秋晴れの10月23日(日）アムステルフェーンのショッピングセンターの広場で行われた日本祭りは2万人の人が出て盛会に終わりました。

舞台の上では和太鼓や日本人幼稚園や日本人学校の子どもたちが歌ったり踊ったり、オランダ人は日本のPOPでパーフォーマンスを披露して盛り上がりました。私たちNALCHollandは其の舞台の袖下で出店することが出来ました。当お祭り委員会のご好意で出店場所をいただけました。場内はとても多くの観客でごった返していましたが、すでに会員である方々が友人の方の為に新しく申込書を取りに来てくださったり、まだオランダに来られて間もないかたが来られて、たくさん質問されたりしました。

お客さんが余りにも多いので入りきれず、大テント外部の小テントにも流れているので、

外回りに出かけてボランティア活動ができそうな方、小さなお子様同伴の方々にパンフレットを手渡しました。小さなお子様連れの方々が多く見うけられたのは余りにもお天気がいいので、お子様と楽しもうと出てこられたのでしょう。このようなご家庭の主婦は遠く日本からご両親と分かれて子育てをされている方たちです。このような状況の方々もボランティアをしたりしてもらったり出来るNALCHollandの組織は大変いい制度だと思います。

子育て中の方にもお声をかけてみてください。

第一回 Potluck 大成功！！

11月６日（日）にアムステルダムの河南さん宅で、第一回 Potluckが開催されました。

予想を大きく上回る17名が、オランダの各地から参加され、会場はとてもにぎやかでした。Japan Festival で、NALCオランダに興味を持たれた方も参加して下さいました。

まず、ヨーストさんからWELnuとNALCオランダについて紹介があり、それから参加者の自己紹介が始まりました。タイムバンキングに関して、ポイントの貯め方、使い方などたくさんの質問が出て、活発な意見交換がありました。その後は、皆さん持ち寄りの美味しい料理を食べながら、さらに会話が弾みました。ボランティア活動の経験談、これからボランティアを始めたい人、たくさんの意見交換ができとても有意義で楽しい午後になりました！

NALCに関するご質問、また我が家でPotluckを開きたい、という方、下記連絡先までご連絡下さい。

連絡先：河南笑子（かんなんえみこ）nalcholland@gmail.com/info@nalcholland.nl

06-22960358 / 020-6425379

NALC オランダ発足がナルクの新聞で紹介されました！

４番目の海外拠点　ナルクオランダ誕生

（2016年11月10日発行　222号　ナルク（NALC）新聞より）

お祝金を贈呈されるMillenaar代表

4番目の海外拠点
ナルクオランダ誕生
9月24日アムステルダムで設立総会

9月24日、ナルクの4番目の海外拠点「ナルクオランダ」が誕生しました。

設立総会は会員41名、総勢50名が参加して行われ、4番目のナルク海外拠点の誕生を祝いました。

総会は高畑会長が出席できなかったため、会長のビデオメッセージ及びお祝い金の贈呈が行われました。続いてオランダ在住日本大使館領事、Amstelveen市会議員、JCCの祝辞がありました。また設立にご尽力いただいたエディンバラ大学の林真由美氏、ナルクUKの竹中プラウン厚子氏からも激励の祝辞がありました。

引き続いての懇親会や休憩時間の茶菓は、福祉機関の利用者によるケータリングサービスを受け、和気あいあいとした設立総会になりました。

代表のA.A.J.Millenaarからのメッセージを紹介します。

「日蘭の関係は、約400年前から始まり、相互で様々な交流をしてきました。その中には、ケアや福祉の交流及び協力が含まれています。私は、ナルクにおける時間預託システムを用いたボランティア活動の発展に非常に関心を示しました。日本に来る度にナルク本部を訪問し、実践されていることから多くの事を学びました。そして、そのことをオランダにいる日本の人たちに伝えることによってオランダにおけるケア・福祉機関との交流を進め、今日の発足式を迎えることが出来ました。ご支援・ご協力を頂いたナルク本部はじめ、日蘭の関係者の皆様に非常に感謝しております。今後、若い人達にも呼びかけ、様々な活動を推進していくことを願っております。最後に、次の言葉で表現したいと思います。

Think globally and act locally

ナルクオランダ詳細

拠点名　ナルクオランダ

代表Anthony A. J. Millenaar

事務局長　河南芙子

本部との連絡　岩崎正子

会員数41人

☎ +31・020・6425379

銚子拠点
千葉科学大学の学生と交流

銚子拠点では、ナルクの会員でもある千葉科学大学看護学部・安藤教授の依頼により、公衆衛生技術演習の授業に

に取り組んでいるところであります。

エリア17推進担当

副会長　神野毅

組織改革を1年間論議してきましたが、結論は「現状の組織体制の中で、個々の拠点が優れた活動をさらに推進し、また課題を解決していくことが重要だ」と言うことが判明しました。

このことをエリア全体で共有し、今後の運動を展開していきたいと思います。

〜〜会計からのお願い〜〜

会運営のため、年会費　€22を設定しました。

まだ、お支払いをお済みでない方は、下記口座までお振込下さるようお願い致します。

NL 13 INGB 0007 4290 16

皆様のご協力をお願い致します。